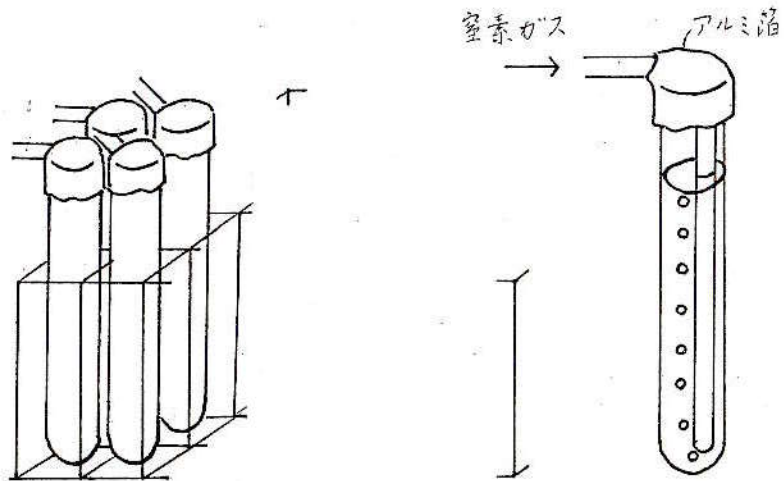


(a) 窒素ガス分配器



(b) 種菌の培養状況

図2

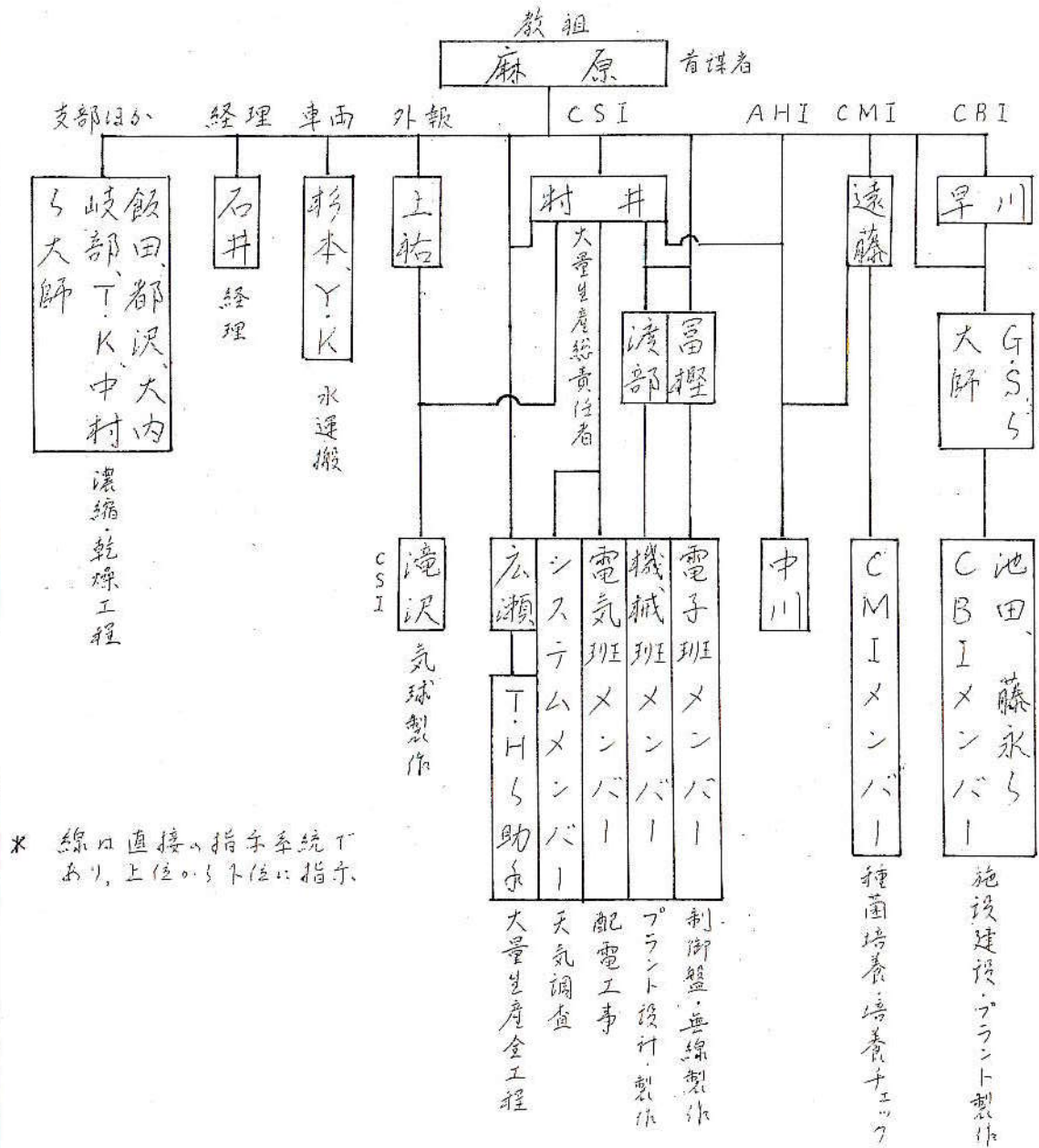
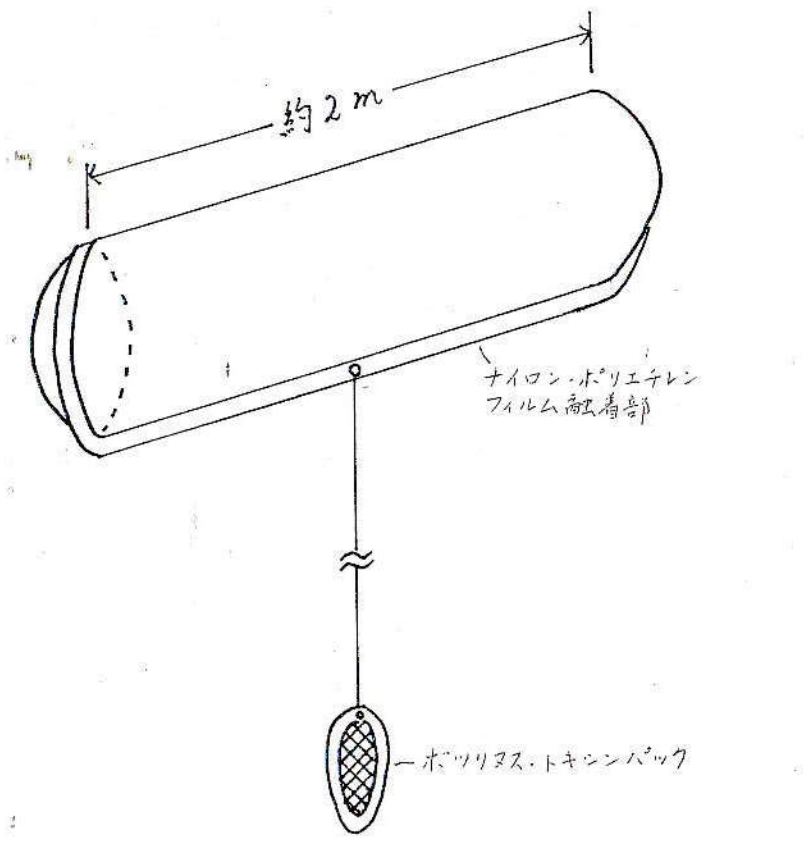
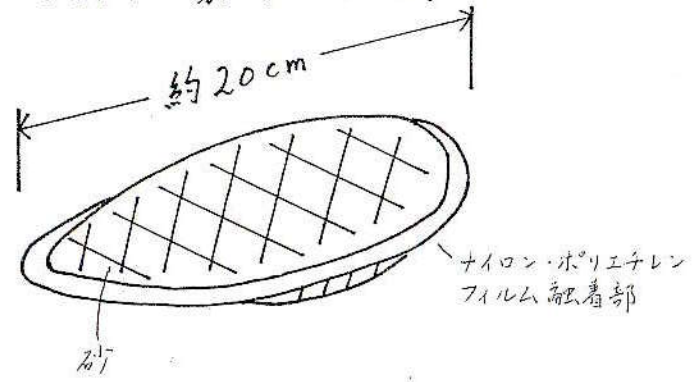


図1 ボツリヌス・トキシン散布計画の組織図



(a) 滝沢が製作した気球



(b) 上右から見せられたボツリヌス・トキシンパックのモデル

図4

工程	作業内容	担当者
プラント殺菌	ボイラーからの蒸気によって、プラントを殺菌	CSI*1
培養液調合	培養液調合槽または培養槽で培養液を調合	CSI
培養液殺菌	ボイラーからの蒸気によって、培養槽中の培養液を殺菌	CSI
	← 種菌投入	遠藤
培養	培養槽において、一定温度でボツリヌス菌を5日間培養	CSI
濃縮	フィルターによって培養液中のボツリヌス菌を除去・同トキシンの濃度も高い、それを濃縮槽に貯留	大師・CSI
乾燥	真空乾燥器またはヒーターによって、ボツリヌス・トキシンを乾燥	大師・CSI
粉末化	粉砕機によって、ボツリヌス・トキシンを粉末化	大師・CSI*2

\*1 CSIとは、広瀬の助手2名  
 \*2 実際は、村井の液部による粉砕機の試運転のみ

図3 ボツリヌス・トキシンの大量生産工程

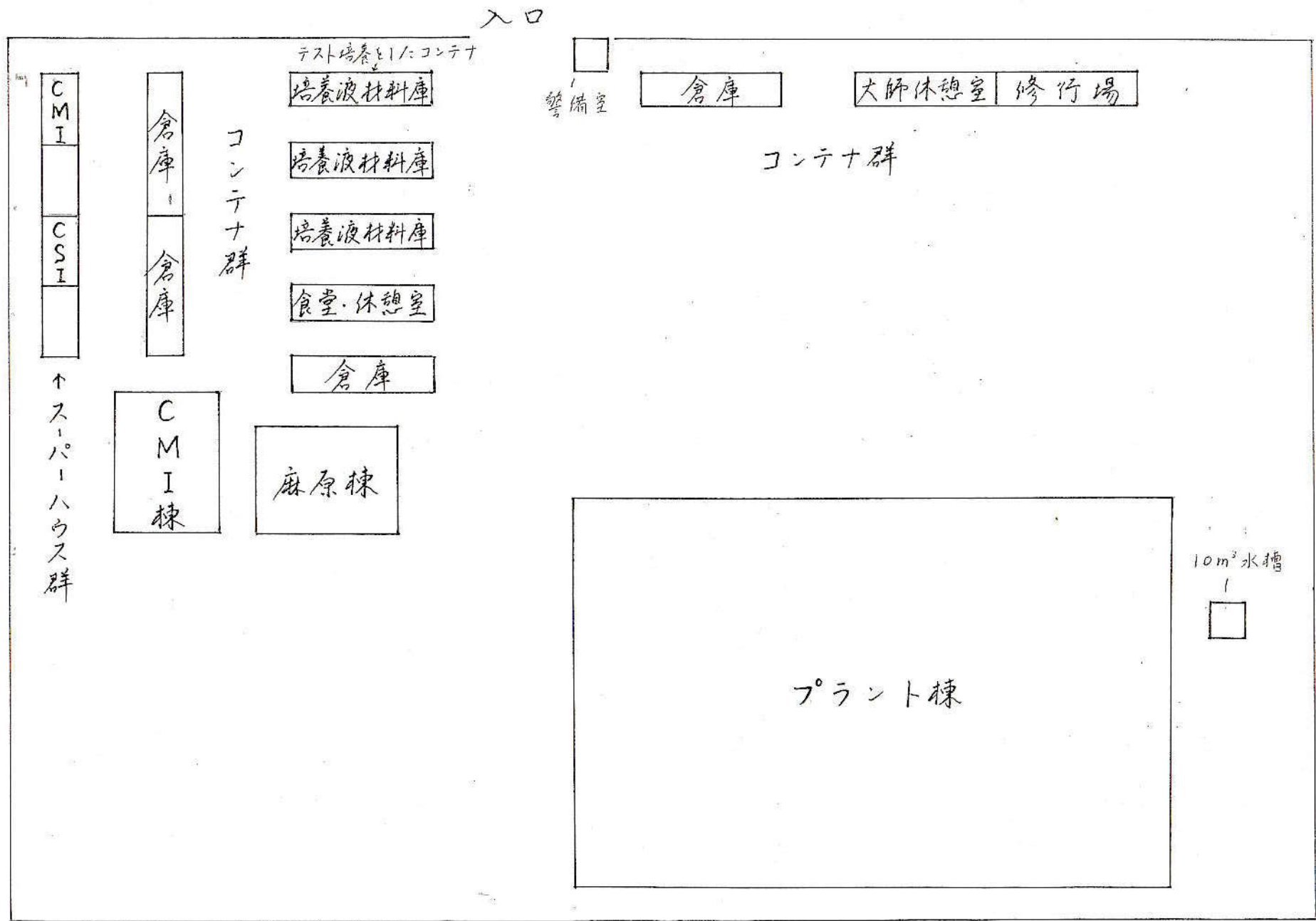


図5 第一上九の状況

\*図は概略です

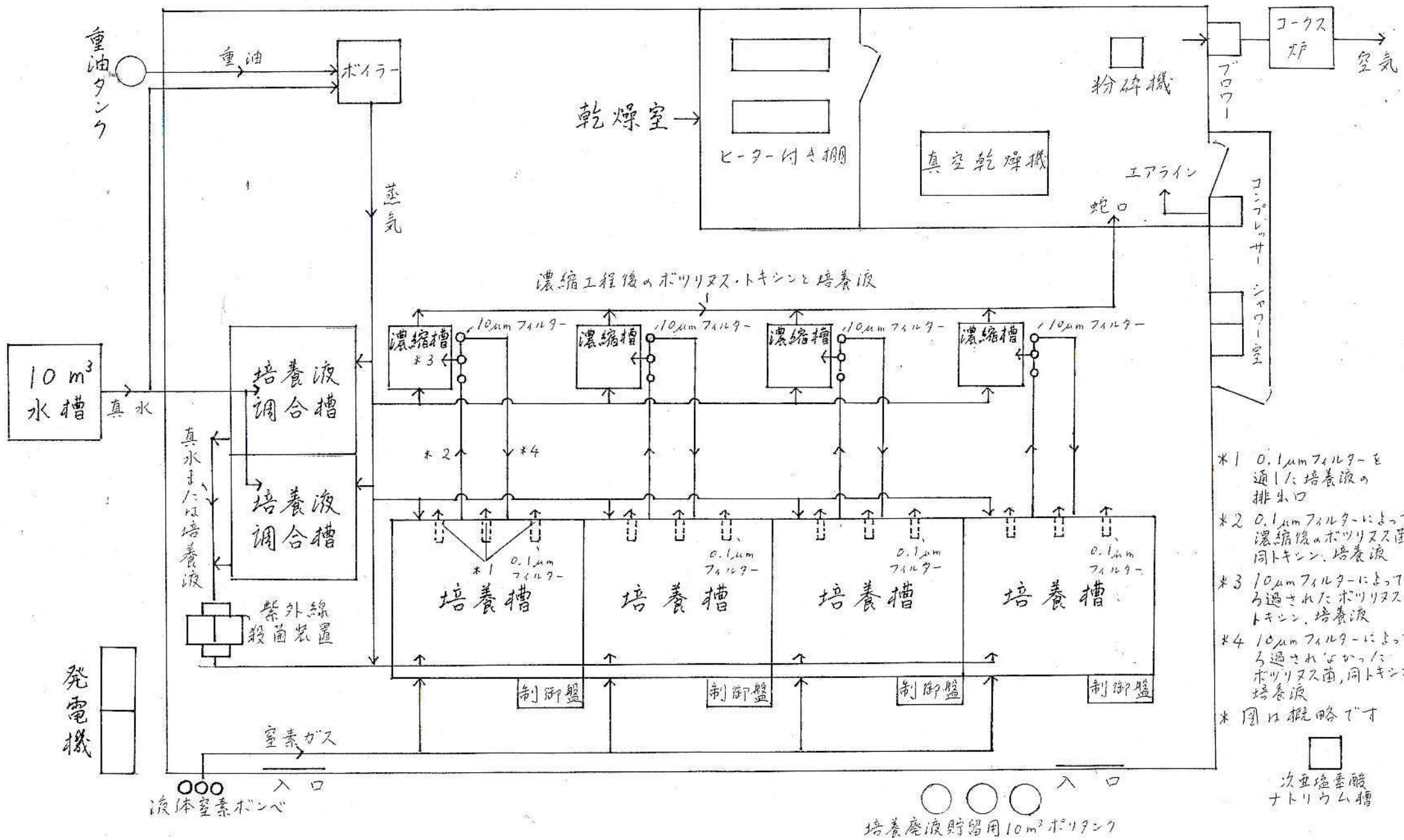


図6 (a) プラント棟の状況